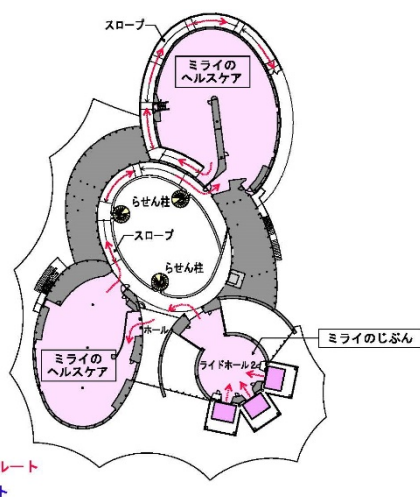
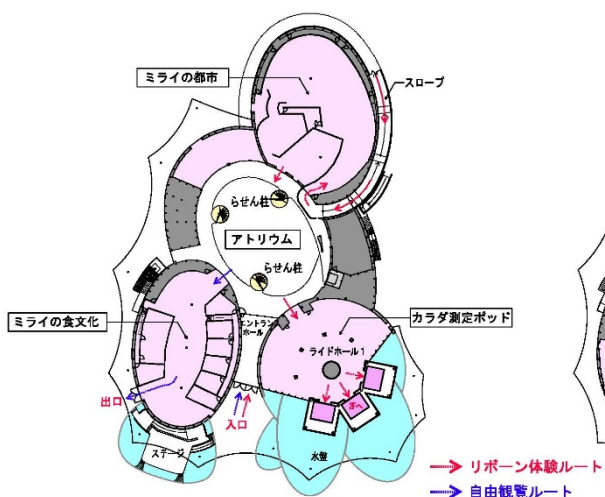
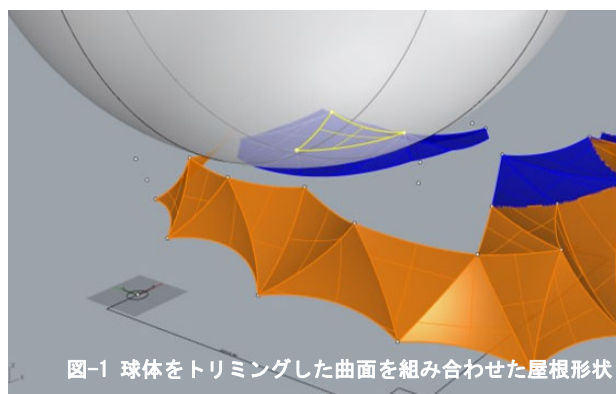
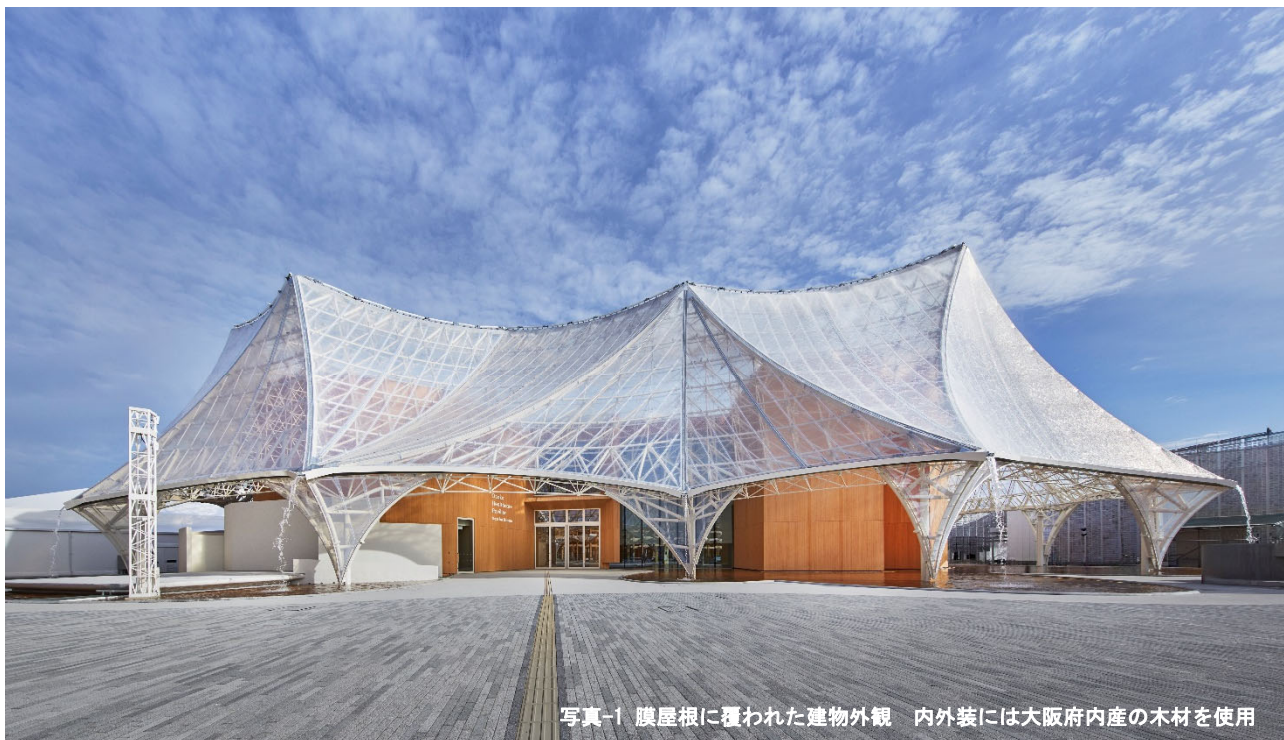


大阪ヘルスケアパビリオン Nest for Reborn

【設計】株式会社 東畑建築事務所



来館者は、エントランスを入りアトリウムを経てライドに乗り込み2階へ向かう。緩やかに下るスロープを回遊しながら各展示室を巡り、ミライのヘルスケア、ミライの都市を体験し、アトリウム、ミライの食文化へと降りていく。

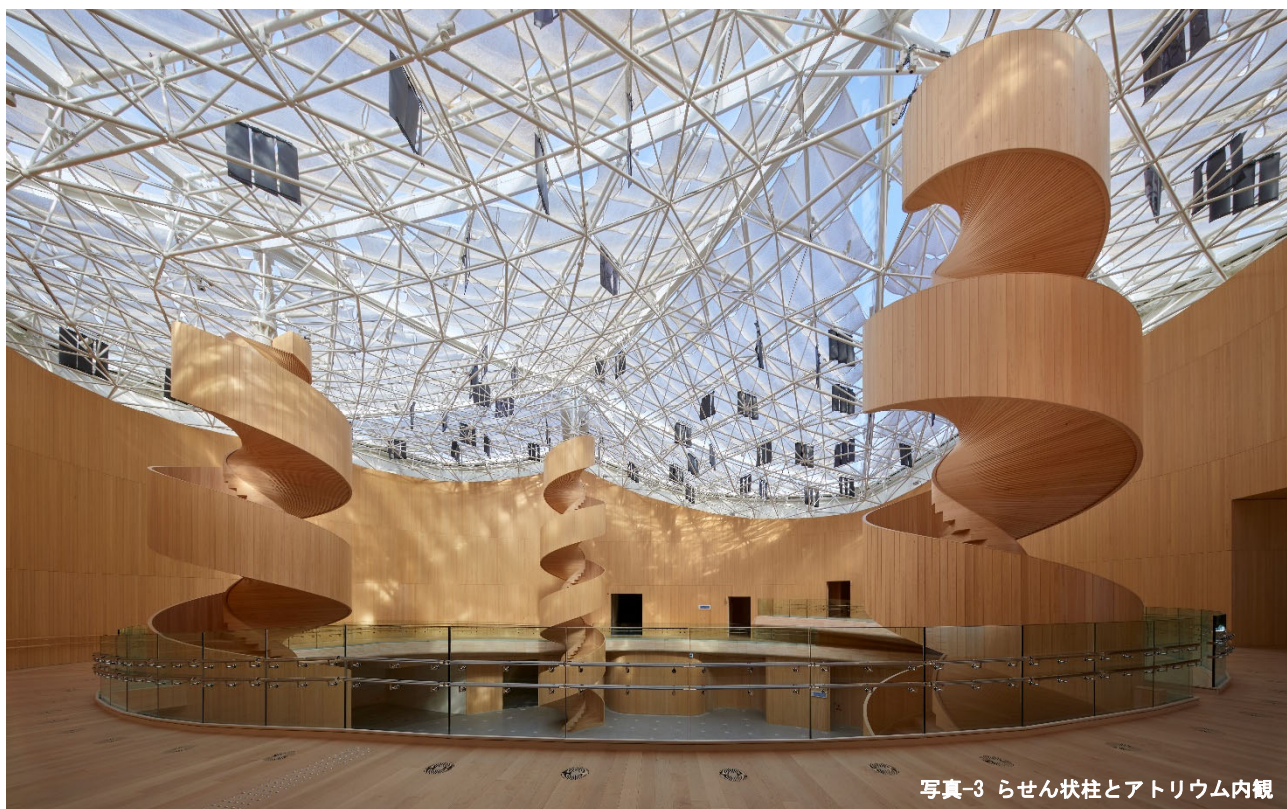


写真-3 らせん状柱とアトリウム内観



写真-4 床吹き出し方式による空調



写真-5 建物夕景

【パビリオンの概要】

「大阪ヘルスケアパビリオン」は、大阪府、大阪市が
出展するパビリオンである。「REBORN（リボーン）」を
テーマとし、「人」は生まれ変わる、新たな一歩を踏み
出す、という2つの意味を込めている。「いのち」や「健
康」の観点から未来社会の新たな価値を創造するととも
に、開催都市大阪の活力と魅力、そしてSDGs達成への
取り組みを世界の人々へ発信するものである。

【設計概要】

アトリウムや展示空間を楕円形とし、それらが有機的
に重なり合う構成としており、全ての楕円がスロープに
よって連続的にひとつながりの回遊性を生み出す計画と
なっている。内外装には大阪府内産の木を多用すること
で、木の温かみや香りを感じられる空間を実現した。

楕円はREBORN（生まれ変わる＝タマゴ）から、アト
リウム屋根を支える3本のらせん状柱はDNA（生命の
設計図）から着想を得た形態である。

建物を覆う特徴的な屋根面は大きな球体の一部をトリ
ミングした曲面同士をつなぎ合わせて創られている。曲
面屋根には透明なETFE膜を採用し、その膜屋根全体を
包み込むように水が流れ、水盤に注ぎ込む。木の温かみ
と香り、木漏れ日のような穏やかな光に包まれるアトリ
ウムは、「水」と「木」に支えられてきた「水都大阪」の
文化を再構築し、自然を感じることが出来る「次世代の
環境共生建築」を目指した。

写真-1～5は、提供：(公社)大阪パビリオン

協力：2025年日本国際博覧会協会

当施設の適判審査は、(一財)日本建築総合試験所が実施しました。